

一般社団法人日本女性航空協会

Japan  
Women's  
Aviation  
Association

701 ■ 2022  
Spring



# 空のワルツ

空を愛する女性のネットワーク  
<http://www.jwaa.or.jp/>

第六回女性航空教室

2022/2/27 WEB開催 Yes I Can !

航空業界の新事業創造

『コーポレート・アントレプレナーシップ』

写真提供：中日本航空株式会社



2022/2/27 Yes I can!

## 第6回 女性航空教室 WEB 開催

多くの女性に航空業界を目指してほしい！を合言葉に、開催されている「女性航空教室」。このコロナ禍により昨年度は開催断念、そして今年は開催できるのか、ぎりぎりまで主催者団体は頭を悩ませました。しかし、過去5回、参加した女性たちの熱気を思い起こし、何としてでも情報を届けたいとWEB開催に踏み切り、出席申し込みは63名を数えました。若い女性たちはどんなメッセージを受け取り、航空業界への思いを強くしてくれたでしょうか。

レポート：浦松香津子、吉田千鶴子

「女性航空教室」プログラム

1. 経済産業省 製造産業局 航空機武器宇宙産業課 航空機部品・素材産業室長 宮越朗 氏
2. 国土交通省 航空局 運航安全課 乗員政策室長 木内宏一 氏
3. 全日本空輸株式会社 整備センター 部品事業室 原動機整備部 エンジン整備二課 若林和 氏
4. 川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー 民間航空機設計部 民間航空機設計四課 安達陽子 氏
5. 中日本航空株式会社 航空事業本部 ヘリコプター運航部 乗員訓練課 内海亜沙美 氏
6. 中日本航空株式会社 航空事業本部 工場整備部 機体整備課 吉嶺磨波 氏
7. 日本航空株式会社 運航本部 737 運航乗員部 副操縦士 多田麻里子 氏
8. 質疑応答

主催：(公社)日本航空技術協会、(一社)日本航空宇宙工業会、(公社)日本航空機操縦士協会、(一社)全日本航空事業連合会、(一社)日本女性航空協会  
 後援：国土交通省航空局、経済産業省製造産業局、文部科学省研究開発局

### 講師の皆さんが画面越しに熱弁！

この教室の最大の特徴は現在第一線で活躍されている女性たちからの直接の話を聴けるということです。前回まではグループディスカッションが大人気でしたが、今年はコロナ対策の都合でその代わり質疑応答に力を入れる予定でした。しかしそれもWEB開催のため難しいということで質問は事前に寄せていただき、講師に司会から尋ねるという形になりました。

2月27日(日)13時、経済産業省の宮越朗室長、国土交通省航空局の木内宏一室長の挨拶にて、我が国の航空の展望、そしてそのためには女性の力が必要なこと等を熱く語っていただいた後、各講師のプ

レゼンテーションがスタートしました。

### 航空機整備士・若林和さん

配信会場に来ていただいたANAの航空機整備士・若林和(のどか)さんがトップバッター。パワーポイントの資料を基に、整備士を志望した経緯、整備部門の仕事の概要、現在の業務である原動機整備について話をされました。

特に印象に残ったのは「高等専門学校在学中に技能五輪を観戦し、スキルを持った女性が輝く姿に感動した」こと。一人の技術者として世界的に活躍できるようにになりたいとの強い気持ちが生まれて、その後の大学、大学院への進学、そしてANAへの就

職につながっていったそうです。「航空機は人や物を運ぶだけではなく、夢やわくわくを感じると思って目指すことにしました。」

プレゼンテーションの後は事前にいただいた質問への回答タイム。『整備士は重量物を扱うイメージですが、実際のお仕事で大変なことは?』という質問にお答えいただきました。「確かに重量物もありますが、工具の使い方などやりやすいように工夫することで対応できます。』『整備士として大切にしていることは?』には「一人で完結できない仕事ですから、コミュニケーションを大切にすること、経験や感覚に頼らず根拠を大切にすること。」と秘訣を教えてくださいました。



### 製造技術者・安達 陽子さん

続いて川崎重工業で航空機設計をされている安達陽子さんがボーイング787の国際共同開発に関わった興味深いお話を展開。航空機製造の話などは普通聞くことも少ないのですが、当教室では毎回製造、設計にかかわる女性技術者をお招きしているので、出席者も「知らなかった世界だったけど興味を持ちました」という感想が多く寄せられていました。

安達さんは本が好きで大学の選考で文学部に行きたかったが、就職のたくさんある法学部か工学部へというご両親の勧めで、ゼロ戦の開発エピソードに感銘を受けた(アニメ「風立ちぬ」の堀越二郎技師



です)ことを思い出し、工学部航空宇宙コースへ進学したとのこと。「学生時代の教授の言葉が現在の心の支えになっています。早く一人前になって周りの人達を助けたいと思ってやってきました。努力すれば道は開けると皆さんにお伝え

したいです。」

質問『英語力はどのくらい必要ですか?』には「ボーイングとのやり取りが多く、私も英語は苦手だったけど英語力は大切です。」だそうですよ。安達さんに限らず講師の皆さんにもお聞きしましたが、マニュアルは英語ですから、学生時代に勉強するなら英語!というアドバイスも。

### ヘリコプターパイロット・内海 亜沙美さん

内海(うちかい)亜沙美さんはまだ入社3年目25歳の若きヘリコプターパイロット。大学2年の時パイロットを目指そうと決意、退学して日本フライトセーフティで訓練を開始、卒業して奨学訓練生として中日本航空(株)に入社しました。ヘリコプターパイロットになるためのライセンス制度、訓練の内容をご紹介いただきました。これから様々な業務にチャレンジしていきたいとのこと。

同社の女性パイロットはまだ一人ですが、沖縄でウリミバエ防除作業の様子を美しい空から見える写真をそえて紹介、人々の生活を支えているヘリコプターが大好きな様子がわかるプレゼンでした。

パイロットへの指定質問に『将来子供が生まれるなどの生活の変化があっても飛び続けられますか?』というもの。これらは女性限定ならではの関心ごとではありますが、「うちの会社は産休・育休を取りづらいような雰囲気はありません!」と力強くお答えいただきました。



### ヘリコプター整備士・吉嶺 磨波さん

同じく中日本航空(株)ヘリコプター整備士の吉嶺磨波さんが登場。大学院卒での入社ですが、実は高校時代に飛行機に搭乗した時、作業をしている整備士さんを見て、整備士を目指したということ。大学の工学部機械工学科では主に飛行機の設計と力学を学び、大学院で衛星の姿勢制御についての研究に取り組みましたが、ずっと整備士になりたかったといい

ます。早く整備士になるには本当は専門学校がいいと聞いたが、初志貫徹、中日本航空に入社して整備経験を積んで整備士に。「私が入るときには先輩の女性整備士が一人でしたが、今は女性整備士も増えました。」人数が増えればだんだん女性が働きやすい環境が整ってきますね。

『整備の仕事で女性にとって大変なことはありますか？』の質問には「女性として体力的にきつい時など、無理せず周りの人の支援を受けること。一人では出来ない仕事ですから、コミュニケーション能力を高めるのが大切だと思います。」



中日本航空 整備士 吉嶺磨波さん

## 航空機パイロット・多田麻里子さん

最後はいよいよ JAL のボーイング 737 型機副操縦士の多田麻里子さん。制服姿もさわやかにと言いたいのですが残念ながら画面越しでは制服全体が見えなくて少々残念。「パイロットになろうというきっかけは大学で聴いた JAL の自社養成のプレゼン」とのこと、これだと思い定め自社養成に応募したそう。採用されてからの訓練の過程、パイロットのキャリアパス、1日のスケジュール、業務内容など、出席者が聞きたかったと思われるお話を手際よく、また楽しく語っていただきました。

JAL の女性パイロットは、男性に比べてまだ少ないものの増加しつつあるとのこと。「パイロットの仕事とはフライトの安全管理、他部門との調整、お客様を目的地まで安全にお届けすることです。パイロットにとって今日と同じ空はない、満足したフライトはなく成長し続けられる仕事だと思います。」「パイロットの魅力・やりがいはチームをまとめて目標を達成する充実感、誰にでもパイロットになれるチャ

ンスはあります！」と力強く出席者に呼び掛けてくれました。



日本航空副操縦士 多田麻里子さん

## 出席者が知りたいことに講師一同で回答！

Q: 身長が 155 cm でもパイロットになれますか？

A: 全く問題ありません。(ヘリコプター及び旅客機どちらとも)

Q: 学生のうちに身につけておくべき習慣や資格はありますか？

A: どの仕事においても英語力は大切です。コミュニケーション能力も重要です。

A: 整備士なら作業車の運転もありますので、自動車のマニュアル免許は必須です。

Q: 出産などで長期間職場を抜けるとこと難しいのでしょうか？また復帰は大丈夫ですか？

A: 女性のライフステージは会社も理解しており、制度も整っています。パイロットにおいても、ある程度の乗務の中断は男性でもあることで、復帰への心配はありません。

## 出席者の声：出席者アンケートより

・なかなか航空関係で働く女性の話を聞く機会がなかったため女性ならではの視点、考えを聞くことができ、非常に有意義な時間でした。また、航空業界で仕事をしたいと強く改めて思うことができ、モチベーションの向上になりました。

・詳しく、簡単にプレゼンテーションとしてまとめてくださったことで一つ一つの仕事が理解することができ、同時に将来についてももう一度考えることができました。

・女性の操縦士の方のお話を伺える機会はとても貴重でした。女性のエアラインパイロットは稀というイメージでしたが、近年の合格者で見ると女性の割合

は比較的高くなっていることを知り、驚いたとともに男女関係なく採用されるのだとわかりました。

・今回のお話でより一層エアラインパイロットになりたいと改めて感じたので、今後より一層英語の勉強をはじめとし、自分なりに就職活動に励みたいと思いました。

・みなさん丁寧に講演していただき、改めて航空業界に魅力を感じました。

**講師の方々の感想は？講師アンケートより**

・様々な会社から集まった多職種の講師が会社の概要や仕事内容の説明をするような機会は、企業説明会ではあり得ないのでとても効率よく航空業界を知ることができる機会だったと感じました。

・他の業種の方のお話を聞いて大変ためになりました。次回はぜひ対面でやりたいですね。

・女性限定だからこそのお話ができるので、この教室の意義がありました。

・男性社会の中に女性が挑戦することに不安が若い方たちにまだまだたくさんあるという印象を受けました。

・航空業界で女性が働く上での悩み・不安を少しでも解消できる場が多くなれば良いと感じます。

・他の業界と変わらないと思います。ひたむきに努力をされる方が活躍出来るのではないかと思います。

・女性だから特別必要なことはないと思います。自分の目標があり、その目標に到達するために努力することができれば活躍できると思います。

アンケートをご返送いただいた方から「貴重な場を設けてくださり、本当にありがとうございました。」との声がほとんどで、WEBでも実施してよかったというのが実感ですが、次回はぜひ対面で！とは出席者、講師両方からの要望です。

6回目の女性航空教室を終えて主催側として感じることは、講師の方々の「女性だから難しいということはない！」ときっぱり言われる方の多いこと。これから社会に出ようとしている学生さんたちの方が心配を膨らませているようです。だからこそ、今回のように先輩方の話を聞く機会というのが重要なですね。来年は若い女性たちで満席のなか開催できることを願っています。



**講師回答：航空業界で女性が活躍するためには何が必要だと思いますか？**

・航空業界で働く女性の割合が更に増えること、女性がいることが当たり前前の環境を作ることだと思います。





トータルコーディネートされたプログラムが就職の機会拡大と人材の早期戦力化を図ります。

株式会社 A.R.T.

アビオン エアラインスクール

**東京** 東京都港区元赤坂1-1-15 ニューヨビル7階  
電話 03-6804-6184 FAX 03-6804-6183

**大阪** 大阪大阪市北区梅田1丁目3-1 大阪駅前第一ビル3階  
電話 06-6136-3110 FAX 06-6136-3111

E-mail : [info@avion-air.com](mailto:info@avion-air.com)  
<http://www.avion-air.com>